

大分鶴崎高校

別府溝部学園短期大学の寺野先生と杉本先生が、
大分鶴崎高校の1年生に出前講座を実施してくださいました。

R7.12.16(火)~12.22(月)

「保育士ってどんな仕事？」

講師：別府溝部学園短期大学 寺野先生

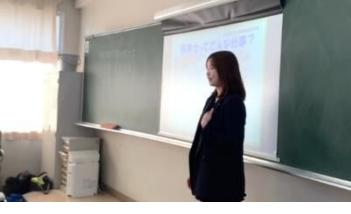
寺野先生は、保育士の仕事内容や、子どもと接する中でどんなことを大切にしているのか、そして保育職の魅力を伝えてくださいました。

『子どもが好き“という
気持ちちはとっても大切です』

PICKUP / インクルーシブ保育とは？

年齢、国籍、障がいの有無などに関係なく、みんなが一緒に遊びを通して成長し、お互いを認め合い、尊重し合いながら育つことを目指す保育のこと。

今 の 保 育 の 現 地 で と て も 大 切 に さ れ て い ま す



～保育職の魅力～

- ・子どもの成長を間近で見る(感じる)ことができる
- ・頑張った分、想いが伝わる 子どもからの「先生ありがとうございます」
保護者からの「いつもありがとうございます」
- ・子どもから喜びを引き出すことができる
- ・自分自身が成長し続けることができる

◎保育は学び続けることができる



子どもたちの声から学ぶ
ことがたくさんあります！
とおしゃっていました。



★生徒の皆さんも『保育職の魅力』について考え、
思ったことを発表してくれました！

「遊びが広がるレクリエーション」

講師：別府溝部学園短期大学 寺野先生・杉本先生

◎手遊び体験



♪ だいじょうぶ？ズコッ

杉本先生のピアノに合わせて
手遊びを実践してみました。



♪ 大きなくりの木の下で

◎わくわくどきどき体験



★ 爆弾ゲーム

「罰ゲーム」を「お楽しみ」と言うことで、子どもは不安感より“わくわくした気持ち”に◎



★ ロンドン橋

◎季節を感じる制作体験



ペーパーツリーを作つてみよう！



子どもたちは、紙をちぎる音・のりの感触
などから五感を養います◎

最後に…

保育者に求められることは、どんな遊びも子どもにとって

- ✿ "楽しい""やってみたい"を引き出せるエッセンスをもっていること
- ✿ 子どもたちと一緒にになって喜怒哀楽すべてを楽しむことができること

保育者は、子どもにとって「こんな大人になりたい」の人生モデルになるため、意識を高くもっておくことが大切



生徒の感想・学び

◎赤ちゃんや子どもにとって「遊ぶ」ことがどれだけ大事なことかわかりました。五感を使った遊びとか、子どもの想像を膨らませる遊びなどを考えていることがすごいと思います。

◎保育園とこども園の違いや専門用語、子ども視点と保護者視点について学ぶことができて楽しかったです。今回の講座を通してより保育士になりたいと思いました。

◎働いていく中で、自分も人として成長できるのはどの職でも同じかなと思っていたけれど、自分よりはるかに年が下の子どもたちから教えてもらうことがあるという点は他の職ではなく、保育士ならではの楽しみのひとつだなと思った。

◎自分から見たらとても大変な仕事だと感じていたけど、働き方改革で、休みが確保できたり収入が安定していると聞いてびっくりした。

◎見えない所でも保育職はすることがいろいろあり、子どもや保護者からの「ありがとうございます」という言葉がやりがいと聞いて魅力的に感じた。